

勸善 懲惡 讀切講釈

司馬相如自ら又と作て
 身を戒しめ卓文君を惜み
 述ひおに青山鉄山あつた
 時の威光を播く海志の
 叶ふを意新より我れと主母
 喰や河の奸計をおたかへ
 かくと露路あつて置まごせ
 身の大難探へ深たつ井筒
 うる巻玉めふまけやぬその玉の緒も

刃の霜と切き一恨の秋風小
 嘯く魂の主月山小執着終小其
 屋鋪を断滅あせり惟るべき
 慎へたの色情の
 遂ハのひろあせ

青山鉄山

花源記



新編
 義経
 壺

彰政七

新編

